

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	宝永きらめきは、「あなたらしさいつまでも」を理念にいつまでも住み慣れた自宅、地域で自分らしく生活が続けられるようにサポートしています。また、利用者のやりたいことや想いの実現、利用者が活躍できる事業所を目指しています。組合員集会室は、組合員や地域の方々が集える場として提供しており、お食事会やカフェも開催しております。
事業所名	宝永きらめきハウス	管理者	辻本 理子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り決めた改善計画に沿って、取り組みを行います。昨年は、利用者の自宅での転倒が増加していることから自宅環境の整備に取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーを中心に、自宅の環境整備を行いました。自宅での転倒は減少しました。 	<ul style="list-style-type: none"> よくやっていると思います。 「地域での暮らしの支援」で、民生委員、地域資源を職員の方が把握できていないとあります。1人暮らしの方はかかわりを持っているが、それ以外の方は相談がない限りは接点がない状況です。民生委員の名前知ってもらうには名前を書いておいてもらおうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者とのかかわりの中で得られる声や様子の変化の気づきを大切にします。ミーティングや小規模会議の場をその情報共有だけでなく、利用者の声を実現するためにはどうしたらよいかや、よりよいケアを提供するためのアイデアを話し合える場にしていきます。 送迎時や訪問時、ご家族とお会いすることができる場合は、様子に変わりないか等の聞き取りを行い、ご家族とのかかわりを強めます。
B.事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根付いている、いっぷく茶屋、早朝トレーニング、ギャラリー貸し出し、ふれあいお食事会、祭りといった取り組みを継続していきます。 家族同士の意見交流会は複数回行うようにします。 悪臭防止や感染症予防のために、換気をこまめに実施していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> いっぷく茶屋、早朝トレーニング、ギャラリー貸し出し、ふれあいお食事会、なかまほいく、まつりといった取り組みを行い、多くの地域の方々と交流することができました。 家族同士の意見交流会の場を持つことはできませんでした。 換気は時間帯を決めて行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所では、鍵がかかっているところもありますが何故ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> いっぷく茶屋やふれあいお食事会、早朝トレーニング、組合員集会室の貸し出し、なかまほいく、祭りといった取り組みを継続し、地域の方々気軽に交流できる場を提供します。 不快な臭いの防止や感染症予防のために、換気をこまめに行います。 日々の活動写真や利用者の作品を継続して掲示し、入りやすくあたたかみのある空間作りを行います。
C.事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員としての活動継続を実行します。 「きらめき応援団」の拡大をして、利用者や地域住民の交流の機会を増やしていきます。 宝永地区の回覧板資料を掲示して、地域行事・活動をスタッフに発信していきます。 宝永地区社会福祉協議会が行う、地域住民に向けた福祉学習会と一緒に参画します。 地域のデイケア(たからサロン)と利用者が交流できるように取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員として独居高齢者の見守り、弁当宅配といった活動を行いました。 「きらめき応援団(ボランティア)」の拡大はできませんでした。これまで交流してきたボランティアさんと継続して交流することができました。 福祉学習会に参加することはできませんでした。 回覧板資料を職員に共有することはできませんでしたが、地域行事への参加には至りませんでした。 地域の学校に出向き、福祉の仕事説明会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 宝永小学校での認知症サポーター養成講座で協力して下さっています。またお願いします。 たからサロンをしていると、利用者さんで自由に入って来られる方がいます。みんな分かっているので見守っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根付いているいっぷく茶屋やふれあいお食事会、早朝トレーニング、組合員集会室の貸し出し、なかまほいく、祭りといった取り組みを継続します。 宝永地区福祉委員としての活動を継続します。 地域活動として、養浩館の清掃活動に利用者、職員でチャレンジします。
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議や地区会議を通して、地区役員さんと協議し、利用者が地域で活躍できる場、役割作りの活動にチャレンジしていきます。(養浩館での清掃活動) 宝永地区福祉委員としての活動継続を実行します。 利用者の交通事故のリスクを減らすために、利用者向けの交通安全講座を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員として独居高齢者の見守り活動をしました。 利用者向けの交通安全講座は実施できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 養浩館は秋の落ち葉はひどいです。 利用者以外で近所の心配な方は事業所に来られますか？ 生協内のつながりで(きらめきと夕食宅配との連携など)で相談もあります。いい見守りをしてもらっていて有り難く思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のデイケアやサークル活動、ふれあいお食事会への参加など、利用者がこれまで行ってきたことを継続し、地域との関係が途切れないように交流できる時間を作ります。 「地域資源とは何か？」ということ、小規模会議の場を通じて学習し、利用者一人ひとりを支える地域資源とその役割は何かを考えます(軒下マップを活用)。 活動提供や行事計画の際は、利用者と一緒に決めることで、利用者の気持ちに沿った企画ができるようにします。
E.運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議や地区会議を通じて、地区役員さんと協議し、利用者が地域で活躍できる場、役割作りの活動にチャレンジしていきます。(養浩館での清掃活動) 運営会議の開催場所を利用者の顔が見える場所で開催継続します。(年2回以上) 地域住民と一緒に宝永地区の地図を作成していきます、地域の事がよりわかるようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の開催場所を、利用者の顔が見える場所で行うことはできませんでした。 認知症サポーター養成講座を地域住民と一緒に取り組みました。 いっぷく茶屋に参加された地域の方々と宝永地区の地図を作成し、組合員集会室に貼り出しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議は、毎回でなくても事業所の雰囲気を見たりするためにも、1回だけでも開催するとよいと思います。 利用者の利用状況(入院、退院の実情等など)を詳しく説明して下さっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を、利用者の様子や事業所内の雰囲気が分かる場所で開催します。(年1回以上) 運営推進会議に、ご家族の参加の声掛けをします。
F.事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災訓練で地震の防災訓練を継続実施します。 地域の防災訓練に利用者と一緒に参加します。 事業所の防災計画を運営推進会議の場を通して資料開示を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災訓練で地震の防災訓練をしました。 事業所の防災計画を運営推進会議で資料開示できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難といっても避難場所の小学校まで行けないため、きらめきに避難できると有り難いです。高齢者は家族でみるようにするので、きらめきにいさせてほしいです。きらめきに行って断られるのはさみしいです。 地域の防災訓練があるが、2次避難場所の小学校が難しければ、1次避難場所の駐車場にだけでも職員さんが避難して参加できるとよいのではないのでしょうか？ 防災計画に雪害も入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災訓練だけでなく、地域の防災訓練にも参加していきます。(6/28、8時)